

# 漢文「故事成語」100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

## はじめに

漢文の名著から生まれた**故事成語**は、入試（漢文・現代文・小論文）でも日常でも頻出です。**意味・由来・出典**を四択で確かめましょう。意味と「もとになった話」をセットで覚えるのが定着のコツです。

観点	問われ方
意味	その成語が表す意味は何か
由来	もとになった故事（話の中身）はどれか
故事成語	意味から成語を当てる
出典	もとの書物（史記・戦国策・韓非子・孟子など）

**覚え方**…意味だけでなく「どんな話から生まれたか」をイメージで結びつけると忘れにくい。出典は『史記』『戦国策』『韓非子』『孟子』『論語』など、歴史書・思想書が中心です。

## 採点表

部	問題	目標
第1部	Q1～Q25	20/25
第2部	Q26～Q50	19/25
第3部	Q51～Q75	18/25
第4部	Q76～Q100	17/25

## 【第1部】(Q1～Q25)

**意味** Q1. 「矛盾（むじゅん）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア つじつまが合わないこと

イ 目的を遂げるため、長い間つらい苦勞を耐え忍ぶこと

ウ 失敗すれば後がない、決死の覚悟でのぞむこと

エ 物事を完成させる、最後の大切な仕上げ

解答欄：

意味 **Q2.** 「蛇足 (だそく)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 目先の違いにこだわり、結果が同じだと気づかないこと

イ あっても無駄な、余計な付け足し

ウ 大きな団体の末端より、小さな団体の長になるほうがよいこと

エ 負け惜しみが強く、こじつけて言い逃れること

解答欄：

意味 **Q3.** 「五十歩百歩 (ごじっぽひゃっぽ)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 人生の幸不幸は予測できないということ

イ 仲の悪い者同士が同じ場に居合わせる。また協力すること

ウ 多少の違いはあっても本質的には同じであること

エ 他人のよくない言動も、自分をみがく助けになること

解答欄：

意味 **Q4.** 「漁夫の利 (ぎよふのり)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 苦勞して学問にはげみ、その成果を得ること

イ 多くのものの中で、最もすぐれた人や物

ウ 昔のことをよく学んで、新しい知識や見方を得ること

エ 両者が争う間に、第三者が勞せず利益を得ること

解答欄：

意味 **Q5.** 「推敲 (すいこう)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 詩や文章の字句を何度も練り直すこと

イ よけいな手助けをして、かえって害すること

ウ そこを通れば立身出世できる関門のこと

エ いつまでも進歩のない人のこと

解答欄：

**意味 Q6.** 「杞憂（きゆう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 古い習慣にこだわり、融通がきかないこと

イ 無用な心配。とりこし苦労

ウ 他人の権勢をかさに着て、いばること

エ はらわたがちぎれるほどの、つらく悲しい思い

解答欄：

**意味 Q7.** 「四面楚歌（しめんそか）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 欠点がなく完全なこと。また、無事にやりとげること

イ 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと

ウ 周囲がすべて敵で、孤立すること

エ 技巧のあとがなく自然で完全なこと。飾り気がなく純真なこと

解答欄：

**意味 Q8.** 「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 失敗すれば後がない、決死の覚悟でのぞむこと

イ 物事を完成させる、最後の大切な仕上げ

ウ 離れられない、きわめて親密な交わり

エ 目的を遂げるため、長い間つらい苦労を耐え忍ぶこと

解答欄：

意味 **Q9.** 「朝三暮四（ちょうさんぼし）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 目先の違いにこだわり、結果が同じだと気づかないこと

イ 大きな団体の末端より、小さな団体の長になるほうがよいこと

ウ 負け惜しみが強く、こじつけて言い逃れること

エ 物事は手近で基本的な所から、順を追って進めるべきこと

解答欄：

意味 **Q10.** 「塞翁が馬（さいおうがうま）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 仲の悪い者同士が同じ場に居合わせる。また協力すること

イ 人生の幸不幸は予測できないということ

ウ 他人のよくない言動も、自分をみがく助けになること

エ つじつまが合わないこと

解答欄：

意味 **Q11.** 「螢雪の功（けいせつのこう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 多くのものの中で、最もすぐれた人や物

イ 昔のことをよく学んで、新しい知識や見方を得ること

ウ 苦勞して学問にはげみ、その成果を得ること

エ あっても無駄な、余計な付け足し

解答欄：

意味 **Q12.** 「助長（じょちょう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア そこを通れば立身出世できる関門のこと

イ いつまでも進歩のない人のこと

ウ 多少の違いはあっても本質的には同じであること

エ よけいな手助けをして、かえって害すること

解答欄：

意味 **Q13.** 「守株（しゅしゅ）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 古い習慣にこだわり、融通がきかないこと

イ 他人の権勢をかさに着て、いばること

ウ はらわたがちぎれるほどの、つらく悲しい思い

エ 両者が争う間に、第三者が労せず利益を得ること

解答欄：

意味 **Q14.** 「完璧（かんぺき）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと

イ 欠点がなく完全なこと。また、無事にやりとげること

ウ 技巧のあとがなく自然で完全なこと。飾り気がなく純真なこと

エ 詩や文章の字句を何度も練り直すこと

解答欄：

意味 **Q15.** 「背水の陣（はいすいのじん）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 物事を完成させる、最後の大切な仕上げ

イ 離れられない、きわめて親密な交わり

ウ 失敗すれば後がない、決死の覚悟でのぞむこと

エ 無用な心配。とりこし苦勞

解答欄：

意味 **Q16.** 「鶏口牛後（けいこうぎゅうご）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 負け惜しみが強く、こじつけて言い逃れること

イ 物事は手近で基本的な所から、順を追って進めるべきこと

ウ 周囲がすべて敵で、孤立すること

エ 大きな団体の末端より、小さな団体の長になるほうがよいこと

解答欄：

**意味 Q17.** 「呉越同舟（ごえつどうしゅう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 仲の悪い者同士が同じ場に居合わせること。また協力すること

イ 他人のよくない言動も、自分をみがく助けになること

ウ つじつまが合わないこと

エ 目的を遂げるため、長い間つらい苦勞を耐え忍ぶこと

解答欄：

**意味 Q18.** 「白眉（はくび）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 昔のことをよく学んで、新しい知識や見方を得ること

イ 多くのものの中で、最もすぐれた人や物

ウ あっても無駄な、余計な付け足し

エ 目先の違いにこだわり、結果が同じだと気づかないこと

解答欄：

**意味 Q19.** 「登竜門（とうりゅうもん）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア いつまでも進歩のない人のこと

イ 多少の違いはあっても本質的には同じであること

ウ そこを通れば立身出世できる関門のこと

エ 人生の幸不幸は予測できないということ

解答欄：

**意味 Q20.** 「虎の威を借る狐（とらのいをかきつね）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア はらわたがちぎれるほどの、つらく悲しい思い

イ 両者が争う間に、第三者が労せず利益を得ること

ウ 苦勞して学問にはげみ、その成果を得ること

エ 他人の権勢をかさに着て、いばること

解答欄：

**意味 Q21.** 「覆水盆に返らず（ふくすいぼんにかえらず）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと

イ 技巧のあとがなく自然で完全なこと。飾り気がなく純真なこと

ウ 詩や文章の字句を何度も練り直すこと

エ よけいな手助けをして、かえって害すること

解答欄：

**意味 Q22.** 「画竜点睛（がりょうてんせい）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 離れられない、きわめて親密な交わり

イ 物事を完成させる、最後の大切な仕上げ

ウ 無用な心配。とりこし苦勞

エ 古い習慣にこだわり、融通がきかないこと

解答欄：

**意味 Q23.** 「漱石枕流（そうせきちんりゅう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 物事は手近で基本的な所から、順を追って進めるべきこと

イ 周囲がすべて敵で、孤立すること

ウ 負け惜しみが強く、こじつけて言い逃れること

エ 欠点がなく完全なこと。また、無事にやりとげること

解答欄：

**意味 Q24.** 「他山の石（たざんのいし）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア つじつまが合わないこと

イ 目的を遂げるため、長い間つらい苦勞を耐え忍ぶこと

ウ 失敗すれば後がない、決死の覚悟でのぞむこと

エ 他人のよくない言動も、自分をみがく助けになること

解答欄：

**意味 Q25.** 「温故知新（おんこちしん）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 昔のことをよく学んで、新しい知識や見方を得ること

イ あっても無駄な、余計な付け足し

ウ 目先の違いにこだわり、結果が同じだと気づかないこと

エ 大きな団体の末端より、小さな団体の長になるほうがよいこと

解答欄：

**意味 Q26.** 「呉下の阿蒙（ごかのあもう）」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 多少の違いはあっても本質的には同じであること

イ いつまでも進歩のない人のこと

ウ 人生の幸不幸は予測できないということ

エ 仲の悪い者同士が同じ場に居合わせる。また協力すること

解答欄：

**意味 Q27.** 「断腸の思い (だんちょうのおもい)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 両者が争う間に、第三者が労せず利益を得ること

イ 苦勞して学問にはげみ、その成果を得ること

ウ はらわたがちぎれるほどの、つらく悲しい思い

エ 多くのものの中で、最もすぐれた人や物

解答欄：

**意味 Q28.** 「天衣無縫 (てんいむほう)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 詩や文章の字句を何度も練り直すこと

イ よけいな手助けをして、かえって害すること

ウ そこを通れば立身出世できる関門のこと

エ 技巧のあとがなく自然で完全なこと。飾り気がなく純真なこと

解答欄：

**意味 Q29.** 「水魚の交わり (すいぎよのまじわり)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 離れられない、きわめて親密な交わり

イ 無用な心配。とりこし苦勞

ウ 古い習慣にこだわり、融通がきかないこと

エ 他人の権勢をかさに着て、いばること

解答欄：

**意味 Q30.** 「登高自卑 (とうこうじひ)」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 周囲がすべて敵で、孤立すること

イ 物事は手近で基本的な所から、順を追って進めるべきこと

ウ 欠点がなく完全なこと。また、無事にやりとげること

エ 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと

解答欄：

-----  
**故事成語 Q31.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「つじつまが合わないこと」

ア 臥薪嘗胆

イ 背水の陣

ウ 矛盾

エ 画竜点睛

解答欄：

-----  
**故事成語 Q32.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「あっても無駄な、余計な付け足し」

ア 朝三暮四

イ 鶏口牛後

ウ 漱石枕流

エ 蛇足

解答欄：

-----  
**故事成語 Q33.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「多少の違いはあっても本質的には同じであること」

ア 五十歩百歩

イ 塞翁が馬

ウ 呉越同舟

エ 他山の石

解答欄：

故事成語 **Q34.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「両者が争う間に、第三者が労せず利益を得ること」

ア 螢雪の功

イ 漁夫の利

ウ 白眉

エ 温故知新

解答欄：

故事成語 **Q35.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「詩や文章の字句を何度も練り直すこと」

ア 助長

イ 登竜門

ウ 推敲

エ 呉下の阿蒙

解答欄：

故事成語 **Q36.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「無用な心配。とりこし苦労」

ア 守株

イ 虎の威を借る狐

ウ 断腸の思い

エ 杞憂

解答欄：

故事成語 **Q37.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「周囲がすべて敵で、孤立すること」

ア 四面楚歌

イ 完璧

ウ 覆水盆に返らず

エ 天衣無縫

解答欄：

-----  
**故事成語 Q38.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「目的を遂げるため、長い間  
つらい苦勞を耐え忍ぶこと」

ア 背水の陣

イ 臥薪嘗胆

ウ 画竜点睛

エ 水魚の交わり

解答欄：

-----  
**故事成語 Q39.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「目先の違いにこだわり、結  
果が同じだと気づかないこと」

ア 鶏口牛後

イ 漱石枕流

ウ 朝三暮四

エ 登高自卑

解答欄：

-----  
**故事成語 Q40.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「人生の幸不幸は予測できな  
いということ」

ア 呉越同舟

イ 他山の石

ウ 矛盾

エ 塞翁が馬

解答欄：

-----  
**故事成語 Q41.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「苦勞して学問にはげみ、その成果を得ること」

ア 螢雪の功

イ 白眉

ウ 温故知新

エ 蛇足

解答欄：

-----  
**故事成語 Q42.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「よけいな手助けをして、かえって害すること」

ア 登竜門

イ 助長

ウ 呉下の阿蒙

エ 五十歩百歩

解答欄：

-----  
**故事成語 Q43.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「古い習慣にこだわり、融通がきかないこと」

ア 虎の威を借る狐

イ 断腸の思い

ウ 守株

エ 漁夫の利

解答欄：

故事成語 **Q44.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「欠点がなく完全なこと。また、無事にやりとげること」

ア 覆水盆に返らず

イ 天衣無縫

ウ 推敲

エ 完璧

解答欄：

故事成語 **Q45.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「失敗すれば後がない、決死の覚悟でのぞむこと」

ア 背水の陣

イ 画竜点睛

ウ 水魚の交わり

エ 杞憂

解答欄：

故事成語 **Q46.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「大きな団体の末端より、小さな団体の長になるほうがよいこと」

ア 漱石枕流

イ 鶏口牛後

ウ 登高自卑

エ 四面楚歌

解答欄：

故事成語 **Q47.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「仲の悪い者同士が同じ場に居合わせること。また協力すること」

ア 他山の石

イ 矛盾

ウ 呉越同舟

エ 臥薪嘗胆

解答欄：

-----  
**故事成語 Q48.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「多くのものの中で、最もすぐれた人や物」

ア 温故知新

イ 蛇足

ウ 朝三暮四

エ 白眉

解答欄：

-----  
**故事成語 Q49.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「そこを通れば立身出世できる関門のこと」

ア 登竜門

イ 呉下の阿蒙

ウ 五十歩百歩

エ 塞翁が馬

解答欄：

-----  
**故事成語 Q50.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「他人の権勢をかさに着て、いばること」

ア 断腸の思い

イ 虎の威を借る狐

ウ 漁夫の利

エ 螢雪の功

解答欄：

-----  
**故事成語 Q51.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「一度してしまったことは、取り返しがつかないこと」

ア 天衣無縫

イ 推敲

ウ 覆水盆に返らず

エ 助長

解答欄：

-----  
**故事成語 Q52.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「物事を完成させる、最後の大切な仕上げ」

ア 水魚の交わり

イ 杞憂

ウ 守株

エ 画竜点睛

解答欄：

-----  
**故事成語 Q53.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「負け惜しみが強く、こじつけて言い逃れること」

ア 漱石枕流

イ 登高自卑

ウ 四面楚歌

エ 完璧

解答欄：

故事成語 Q54. 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「他人のよくない言動も、自分をみがく助けになること」

ア 矛盾

イ 他山の石

ウ 臥薪嘗胆

エ 背水の陣

解答欄：

故事成語 Q55. 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「昔のことをよく学んで、新しい知識や見方を得ること」

ア 蛇足

イ 朝三暮四

ウ 温故知新

エ 鶏口牛後

解答欄：

故事成語 Q56. 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「いつまでも進歩のない人のこと」

ア 五十歩百歩

イ 塞翁が馬

ウ 呉越同舟

エ 呉下の阿蒙

解答欄：

故事成語 Q57. 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「はらわたがちぎれるほどの、つらく悲しい思い」

ア 断腸の思い

イ 漁夫の利

ウ 螢雪の功

エ 白眉

解答欄：

-----  
**故事成語 Q58.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「技巧のあとがなく自然で完全なこと。飾り気がなく純真なこと」

ア 推敲

イ 天衣無縫

ウ 助長

エ 登竜門

解答欄：

-----  
**故事成語 Q59.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「離れられない、きわめて親密な交わり」

ア 杞憂

イ 守株

ウ 水魚の交わり

エ 虎の威を借る狐

解答欄：

-----  
**故事成語 Q60.** 次の意味を表す故事成語を、ア～エから選べ。意味：「物事は手近で基本的な所から、順を追って進めるべきこと」

ア 四面楚歌

イ 完璧

ウ 覆水盆に返らず

エ 登高自卑

解答欄：

由来 **Q61.** 「矛盾 (むじゅん)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア どんな盾も貫く矛と、どんな矛も防ぐ盾を売る者が、両者を問われて答えられなかった話

イ 薪の上に寝、苦い胆をなめて、敗北の雪辱を期した話

ウ 韓信が川を背に陣を敷き、退路を断って戦い勝った話

エ 竜の絵にひとみを描き入れると、竜が天に昇ったという話

解答欄：

由来 **Q62.** 「蛇足 (だそく)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 猿に木の実を「朝三つ暮れ四つ」から「朝四つ暮れ三つ」にすると喜んだ話

イ 蛇の絵を早く描く競争で、先に描けた者が足まで描き足してかえって負けた話

ウ 「鶏口と為るも牛後と為る無かれ」という言葉から

エ 「石に漱ぎ流れに枕す」の言い間違いを、強引に弁解した話

解答欄：

由来 **Q63.** 「五十歩百歩 (ごじっぽひゃっぽ)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 辺境の老人の馬が逃げたが後に良馬を連れ帰るなど、幸不幸が転じ続けた話

イ 敵国の呉と越の人が同じ舟に乗り合わせ、嵐では助け合うという話

ウ 戦場で五十歩逃げた者が百歩逃げた者を笑うが、逃げた点では同じだという話

エ 「他山の石、以て玉を攻 (みが) くべし」という詩句から

解答欄：

由来 Q64. 「漁夫の利（ぎょふのり）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 貧しくて灯油が買えず、螢の光や雪明かりで書物を読んで学んだ話

イ 馬氏の五兄弟のうち、眉に白毛のある長兄が最も優れていた話

ウ 「故きを温ねて新しきを知る」という孔子の言葉から

エ 鵜（しぎ）と蚌（どぶがい）が争う隙に、漁師が両方とも捕らえた話

解答欄：

由来 Q65. 「推敲（すいこう）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 詩人が「推す」と「敲く」のどちらの字にするか迷った話

イ 苗の生長を助けようと引っ張り上げ、枯らしてしまった話

ウ 黄河の急流「竜門」を登りきった鯉は竜になるという言い伝え

エ 学問をしない呂蒙を評した語。後に大成し「呉下の阿蒙に非ず」と驚かれた

解答欄：

由来 Q66. 「杞憂（きゆう）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 切り株にぶつかった兎をまた得ようと、株を見張り続けた話

イ 杞の国の人が、天が落ちてこないかと心配した話

ウ 狐が「自分は天帝の使い」と言い、虎を後ろに従えて獣を恐れさせた話

エ 子を捕らえられた母猿が、悲しみのあまり腸が切れて死んでいた話

解答欄：

由来 Q67. 「四面楚歌（しめんそか）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 藺相如が、傷一つつけず璧（玉）を趙の国へ持ち帰った話

イ 離縁した妻が復縁を求めたが、こぼした水は盆に戻らないと断られた話

ウ 項羽が四方の漢軍から楚の歌を聞き、楚が降ったと悟った話

エ 天人の衣には縫い目がないという話

解答欄：

由来 **Q68.** 「臥薪嘗胆 (がしんしょうたん)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 韓信が川を背に陣を敷き、退路を断って戦い勝った話

イ 竜の絵にひとみを描き入れると、竜が天に昇ったという話

ウ 劉備が、諸葛亮との関係を「水と魚」にたとえた話

エ 薪の上に寝、苦い胆をなめて、敗北の雪辱を期した話

解答欄：

由来 **Q69.** 「朝三暮四 (ちょうさんぼし)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 猿に木の実を「朝三つ暮れ四つ」から「朝四つ暮れ三つ」にすると喜んだ話

イ 「鶏口と為るも牛後と為る無かれ」という言葉から

ウ 「石に漱ぎ流れに枕す」の言い間違いを、強引に弁解した話

エ 高い所へ登るにも、必ず低い所から始めるという教え

解答欄：

由来 **Q70.** 「塞翁が馬 (さいおうがうま)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 敵国の呉と越の人が同じ舟に乗り合わせ、嵐では助け合うという話

イ 辺境の老人の馬が逃げたが後に良馬を連れ帰るなど、幸不幸が転じ続けた話

ウ 「他山の石、以て玉を攻 (みが) くべし」という詩句から

エ どんな盾も貫く矛と、どんな矛も防ぐ盾を売る者が、両者を問われて答えられなかった話

解答欄：

由来 Q71. 「螢雪の功 (けいせつのこう)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 馬氏の五兄弟のうち、眉に白毛のある長兄が最も優れていた話

イ 「故きを温ねて新しきを知る」という孔子の言葉から

ウ 貧しくて灯油が買えず、螢の光や雪明かりで書物を読んで学んだ話

エ 蛇の絵を早く描く競争で、先に描けた者が足まで描き足しかえって負けた話

解答欄：

由来 Q72. 「助長 (じょちょう)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 黄河の急流「竜門」を登りきった鯉は竜になるという言い伝え

イ 学問をしない呂蒙を評した語。後に大成し「呉下の阿蒙に非ず」と驚かれた

ウ 戦場で五十歩逃げた者が百歩逃げた者を笑うが、逃げた点では同じだという話

エ 苗の生長を助けようと引っ張り上げ、枯らしてしまった話

解答欄：

由来 Q73. 「守株 (しゅしゅ)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 切り株にぶつかった兎をまた得ようと、株を見張り続けた話

イ 狐が「自分は天帝の使い」と言い、虎を後ろに従えて獣を恐れさせた話

ウ 子を捕らえられた母猿が、悲しみのあまり腸が切れて死んでいた話

エ 鵜 (しぎ) と蚌 (どぶがい) が争う隙に、漁師が両方とも捕らえた話

解答欄：

由来 Q74. 「完璧 (かんぺき)」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 離縁した妻が復縁を求めたが、こぼした水は盆に戻らないと断られた話

イ 藺相如が、傷一つつけず璧 (玉) を趙の国へ持ち帰った話

ウ 天人の衣には縫い目がないという話

エ 詩人が「推す」と「敲く」のどちらの字にするか迷った話

解答欄：

由来 **Q75.** 「背水の陣（はいすいのじん）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 竜の絵にひとみを描き入れると、竜が天に昇ったという話

イ 劉備が、諸葛亮との関係を「水と魚」にたとえた話

ウ 韓信が川を背に陣を敷き、退路を断って戦い勝った話

エ 杞の国の人が、天が落ちてこないかと心配した話

解答欄：

由来 **Q76.** 「鶏口牛後（けいこうぎゅうご）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 「石に漱ぎ流れに枕す」の言い間違いを、強引に弁解した話

イ 高い所へ登るにも、必ず低い所から始めるという教え

ウ 項羽が四方の漢軍から楚の歌を聞き、楚が降ったと悟った話

エ 「鶏口と為るも牛後と為る無かれ」という言葉から

解答欄：

由来 **Q77.** 「呉越同舟（ごえつどうしゅう）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 敵国の呉と越の人が同じ舟に乗り合わせ、嵐では助け合うという話

イ 「他山の石、以て玉を攻（みが）くべし」という詩句から

ウ どんな盾も貫く矛と、どんな矛も防ぐ盾を売る者が、両者を問われて答えられなかった話

エ 薪の上に寝、苦い胆をなめて、敗北の雪辱を期した話

解答欄：

由来 Q78. 「白眉（はくび）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 「故きを温ねて新しきを知る」という孔子の言葉から

イ 馬氏の五兄弟のうち、眉に白毛のある長兄が最も優れていた話

ウ 蛇の絵を早く描く競争で、先に描けた者が足まで描き足しかえって負けた話

エ 猿に木の実を「朝三つ暮れ四つ」から「朝四つ暮れ三つ」にすると喜んだ話

解答欄：

由来 Q79. 「登竜門（とうりゅうもん）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 学問をしない呂蒙を評した語。後に大成し「呉下の阿蒙に非ず」と驚かれた

イ 戦場で五十歩逃げた者が百歩逃げた者を笑うが、逃げた点では同じだという話

ウ 黄河の急流「竜門」を登りきった鯉は竜になるという言い伝え

エ 辺境の老人の馬が逃げたが後に良馬を連れ帰るなど、幸不幸が転じ続けた話

解答欄：

由来 Q80. 「虎の威を借る狐（とらのいをかきつね）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 子を捕らえられた母猿が、悲しみのあまり腸が切れて死んでいた話

イ 鷓（しぎ）と蚌（どぶがい）が争う隙に、漁師が両方とも捕らえた話

ウ 貧しくて灯油が買えず、螢の光や雪明かりで書物を読んで学んだ話

エ 狐が「自分は天帝の使い」と言い、虎を後ろに従えて獣を恐れさせた話

解答欄：

由来 Q81. 「覆水盆に返らず（ふくすいぼんにかえらず）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 離縁した妻が復縁を求めたが、こぼした水は盆に戻らないと断られた話

イ 天人の衣には縫い目がないという話

ウ 詩人が「推す」と「敲く」のどちらの字にするか迷った話

エ 苗の生長を助けようと引っ張り上げ、枯らしてしまった話

解答欄：

**由来 Q82.** 「画竜点睛（がりょうてんせい）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 劉備が、諸葛亮との関係を「水と魚」にたとえた話

イ 竜の絵にひとみを描き入れると、竜が天に昇ったという話

ウ 杞の国の人が、天が落ちてこないかと心配した話

エ 切り株にぶつかった兎をまた得ようと、株を見張り続けた話

解答欄：

**由来 Q83.** 「漱石枕流（そうせきちんりゅう）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 高い所へ登るにも、必ず低い所から始めるという教え

イ 項羽が四方の漢軍から楚の歌を聞き、楚が降ったと悟った話

ウ 「石に漱ぎ流れに枕す」の言い間違いを、強引に弁解した話

エ 藺相如が、傷一つつけず璧（玉）を趙の国へ持ち帰った話

解答欄：

**由来 Q84.** 「他山の石（たざんのいし）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア どんな盾も貫く矛と、どんな矛も防ぐ盾を売る者が、両者を問われて答えられなかった話

イ 薪の上に寝、苦い胆をなめて、敗北の雪辱を期した話

ウ 韓信が川を背に陣を敷き、退路を断って戦い勝った話

エ 「他山の石、以て玉を攻（みが）くべし」という詩句から

解答欄：

由来 **Q85.** 「温故知新（おんこちしん）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 「故きを温ねて新しきを知る」という孔子の言葉から

イ 蛇の絵を早く描く競争で、先に描けた者が足まで描き足してかえって負けた話

ウ 猿に木の実を「朝三つ暮れ四つ」から「朝四つ暮れ三つ」にすると喜んだ話

エ 「鶏口と為るも牛後と為る無かれ」という言葉から

解答欄：

由来 **Q86.** 「呉下の阿蒙（ごかのあもう）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 戦場で五十歩逃げた者が百歩逃げた者を笑うが、逃げた点では同じだという話

イ 学問をしない呂蒙を評した語。後に大成し「呉下の阿蒙に非ず」と驚かれた

ウ 辺境の老人の馬が逃げたが後に良馬を連れ帰るなど、幸不幸が転じ続けた話

エ 敵国の呉と越の人が同じ舟に乗り合わせ、嵐では助け合うという話

解答欄：

由来 **Q87.** 「断腸の思い（だんちょうのおもい）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 鵜（しぎ）と蚌（どぶがい）が争う隙に、漁師が両方とも捕らえた話

イ 貧しくて灯油が買えず、螢の光や雪明かりで書物を読んで学んだ話

ウ 子を捕らえられた母猿が、悲しみのあまり腸が切れて死んでいた話

エ 馬氏の五兄弟のうち、眉に白毛のある長兄が最も優れていた話

解答欄：

由来 Q88. 「天衣無縫（てんいむほう）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 詩人が「推す」と「敲く」のどちらの字にするか迷った話

イ 苗の生長を助けようと引っ張り上げ、枯らしてしまった話

ウ 黄河の急流「竜門」を登りきった鯉は竜になるという言い伝え

エ 天人の衣には縫い目がないという話

解答欄：

由来 Q89. 「水魚の交わり（すいぎよのまじわり）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 劉備が、諸葛亮との関係を「水と魚」にたとえた話

イ 杞の国の人が、天が落ちてこないかと心配した話

ウ 切り株にぶつかった兎をまた得ようと、株を見張り続けた話

エ 狐が「自分は天帝の使い」と言い、虎を後ろに従えて獣を恐れさせた話

解答欄：

由来 Q90. 「登高自卑（とうこうじひ）」のもとになった話として最も適切なものを、ア～エから選べ。

ア 項羽が四方の漢軍から楚の歌を聞き、楚が降ったと悟った話

イ 高い所へ登るにも、必ず低い所から始めるという教え

ウ 藺相如が、傷一つつけず璧（玉）を趙の国へ持ち帰った話

エ 離縁した妻が復縁を求めたが、こぼした水は盆に戻らないと断られた話

解答欄：

出典 Q91. 「矛盾（むじゅん）」の出典（もとになった書物）として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 三国志

イ 唐詩紀事

ウ 韓非子

エ 戦国策

解答欄：

**出典 Q92.** 「蛇足 (だそく)」の出典 (もともなった書物) として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 世説新語

イ 孟子

ウ 晋書

エ 戦国策

解答欄：

**出典 Q93.** 「五十歩百歩 (ごじっぽひゃっぽ)」の出典 (もともなった書物) として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 孟子

イ 列子

ウ 後漢書

エ 歴代名画記

解答欄：

**出典 Q94.** 「漁夫の利 (ぎよふのり)」の出典 (もともなった書物) として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 史記

イ 戦国策

ウ 後漢書

エ 淮南子

解答欄：

**出典 Q95.** 「推敲（すいこう）」の出典（もともなった書物）として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 孟子

イ 拾遺記

ウ 唐詩紀事

エ 礼記

解答欄：

**出典 Q96.** 「杞憂（きゆう）」の出典（もともなった書物）として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 孫子

イ 晋書

ウ 蜀志

エ 列子

解答欄：

**出典 Q97.** 「四面楚歌（しめんそか）」の出典（もともなった書物）として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 史記

イ 後漢書

ウ 歴代名画記

エ 詩経

解答欄：

**出典 Q98.** 「臥薪嘗胆 (がしんしょうたん)」の出典 (もともになった書物) として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 戦国策

イ 史記

ウ 淮南子

エ 論語

解答欄：

**出典 Q99.** 「朝三暮四 (ちょうさんぼし)」の出典 (もともになった書物) として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 拾遺記

イ 礼記

ウ 列子

エ 霊怪録

解答欄：

**出典 Q100.** 「塞翁が馬 (さいおうがうま)」の出典 (もともになった書物) として正しいものを、ア～エから選べ。

ア 拾遺記

イ 蜀志

ウ 韓非子

エ 淮南子

解答欄：